

令和元年 11 月 7 日

市政記者各位

5 か所⇒ **6 か所に拡大**

～再生可能エネルギーの導入推進～

埋立場を活用した新たなメガソーラー発電所の運用を開始します！

福岡市では、自律分散型エネルギー社会の実現に向け、また、地球温暖化対策として再生可能エネルギーの普及拡大に取り組んでいます。

この度、埋立てが終了している 東部（武節ヶ浦）埋立場において、別紙のとおり、令和元年 11 月 9 日（土）から、新たなメガソーラー発電所の運用が開始されることになりましたので、市民への周知をお願いします。

このメガソーラー発電所は、市有地の有効活用の観点から「土地貸し^{*1}」の手法を採るものであり、事業実施者^{*2}が施設の建設・運営を行うものです。



新設メガソーラー発電所（現地）

特 徴

●特徴 1 埋立場の有効活用

埋立場がクリーンな再生可能エネルギーの生産場所として有効活用されます。

●特徴 2 福岡市の財源確保

市所有の土地を事業者に貸し出すことで、毎年、一定の使用料収入が得られます。

●特徴 3 事業実施者による環境学習の実施

市内小学校での太陽光発電をテーマとした環境学習の実施により環境意識の啓発が図られます。

現在、福岡市では、西部（中田）埋立場やベジフルスタジアム（中央卸売市場青果市場）など 5 か所（別紙参照）の市有施設においてメガソーラー発電所が稼働していますが、これにより、市有施設のメガソーラー発電所は 6 か所（発電出力計 6,518kW、市内一般家庭の約 2,200 世帯分）に拡大します。

今後も、様々な手法により、再生可能エネルギーの導入促進に努めてまいります。

*1：市が所有する土地の目的外
使用許可

*2：公募（提案競技方式）により
平成 30 年 6 月に国際航業(株)
に決定

発電出力 **約 1.2 倍**



◆国際航業（株）において、現地にて開所式の開催が 11 月下旬に予定されています。
詳細は後日お知らせします。

◆事業概要

事業名：福岡市東部（武節ヶ浦）埋立場土地貸し太陽光発電事業
 事業内容：事業者に対して、太陽光発電事業を行うことを条件に、市が土地の使用を許可し、事業者が太陽光発電設備の建設・運営を行うもの
 （発電期間：20年間）
 場所：東部（武節ヶ浦）埋立場（一部）（面積：17,569.5㎡）
 ※埋め立ては昭和56年度完了
 福岡市東区蒲田一丁目26番、27番
 事業者：会社名 国際航業株式会社
 所在地 東京都千代田区六番町2番地
 発電出力：1,198kW（市内一般家庭約450世帯分）

福岡市役所本庁舎
敷地面積の約1.2倍

◆市有施設におけるメガソーラー発電所の導入実績

	施設名	発電開始時期	発電規模
①	西部（中田）埋立場	平成25年2月8日	1,000kW
②	東部（武節ヶ浦）埋立場※	平成26年3月20日	1,000kW
③	ベジフルスタジアム（中央卸売市場青果市場）	平成28年2月22日	1,000kW
④	西部水処理センター	平成28年4月1日	1,320kW
⑤	新西部水処理センター		1,000kW
	合計		5,320kW

※ 東部（武節ヶ浦）埋立場においては、平成25年度に稼働を開始したメガソーラー発電所があり、今回運用開始する発電所は2か所目となる。

＜メガソーラー発電所設置場所＞

